

問

主な質問と答弁

2月定例会中の代表質問は、3月14日、15日、16日の3日間にわたって行われました。今回の質問者は10人で、市長の政治姿勢、環境、福祉、都市整備、教育などについて、市の考えをいただきました。

会派別 代表質問項目

※大会派順、結成届出順

民主・社民

- 1 新市長の施政方針について

藤沢市公明党

- 1 藤沢の市政運営について
- 2 チャイルドファースト社会・藤沢のまちについて
- 3 市民生活を守る安全・安心の藤沢のまちについて
- 4 生き生きと暮らせる幸福社会・藤沢のまちについて
- 5 見えざる障がいへの温かな対策について
- 6 市民の健康を支える保健医療の充実について
- 7 自然・人・まちが共存する環境都市・藤沢のまちについて
- 8 生き活きたし地域経済の活力再生の藤沢のまちについて
- 9 まちづくり支援・強化対策について
- 10 市民文化の薫る藤沢のまちについて

ふじさわ自民党

- 1 市長の政治姿勢について

自由松風会

- 1 市長の政治姿勢について

日本共産党藤沢市議会議員団

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 災害から市民のいのちを守ることに
- 3 市民の福祉、暮らしを守ることに
- 4 教育環境整備と子育て支援策の拡充を
- 5 地域経済の振興につながる、地元中小業者と農漁業が元気になる対策を
- 6 憲法九条を生かし、平和で爆音がない藤沢を
- 7 税金の使い方を市民の福祉・暮らし応援に切り替えることについて

さつき会

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 市長の掲げる5つの目標について
- 3 市政の諸課題について

みんなの党藤沢

- 1 市長の政治姿勢について

自民クラブ藤沢

- 1 市長の政治姿勢について

アクティブ藤沢

- 1 市長の政治姿勢について
- ふじさわ再生、のカギは情報公開にあり!!

神奈川ネットワーク運動・藤沢

- 1 市長の施政方針について

(仮称)街なみ百年条例

藤沢らしい景観を次世代に継承

市民との協働作業による作成を目指す

(民主・社民)

質問 市長が施政方針で示した(仮称)街なみ百年条例について、構想の内容を聞きたい。

また、どのように取り組んでいくのか。

答弁 (仮称)街なみ百年条例は、人々が生活していく中で、誇りと愛情を持って、百年という長いスパンで景観や街なみを育てていくこと、市民の協力を得ながら、建てかえ等の機会をとらえて街なみを育てていくことを考えている。時間がかかるが、コストをかけずに統一された街なみが何十年後に引き継がれていくことが重要とされている。そのため、海岸地域や歴史文化地域など、ゾーンごとに特徴をとらえて街なみを誘導し、市民の協力を得ながら、建てかえ等の機会をとらえて街なみを育てていくことを考えている。



今に残る旧藤沢宿の景観＝藤沢一丁目

市民が主役の産業振興

(仮称)ふじさわ元気バザール 地域経済の活性化を図る

(自由松風会)

質問 経済雇用状況が大変厳しい中、市民がいきいき働く藤沢を進めていく上で、地域産業の活性化が求

められている。その一つの手法として、(仮称)ふじさわ元気バザールが提案されているが、その概要と基本的な考え方について聞きたい。

答弁 (仮称)ふじさわ元気バザールは、本市が有する豊かな人的・物的資源を活用して、市民が主役の産業振興を図るためのモデルとなるものであり、市が施設や場所等を用意して、市民に自由な発想で使ってもらうことを想定している。このことにより、市内での経済循環や雇用の創出等が図られ、地域経済の活性化につながるものと考えている。

待機児童の解消へ 今後の取り組みは

(藤沢市公明党)

質問 本市の保育所入所待機児童数は、現在、千七十七人と聞かれますが、今後、待機児童解消に向けてどのような取り組みをされているのか。

答弁 本市では、平成二十

具体的計画については、一年度に策定した保育所整備計画において、認可保育所の定員を二十六年度まで七百三十人拡大することを目指し、さらに、年度計画を前倒しして、二十四年度には当初の計画目標値を百人余り上回る形で整備を進めているが、子育て世代の転入や共働き世帯の増加等により、入所希望者がふえ、保育所整備が追いつかない状況である。

今後は、引き続き、幼稚園の一時預かりや家庭的保育の充実・拡大を図るとともに、事業仕分けの評価結果も踏まえ、①保育所整備計画の見直しによる認可保育所の整備する地域の選定

バイオ分野の研究 安全面のチェックは

(神奈川ネットワーク運動・藤沢)

質問 市内には複数のバイオテクノロジー分野の研究施設があるが、市民の安全を確保し、このような施設に第三者機関を設け、専門家や市民を入れた安全協議会を設置すべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答弁 遺伝子組み換え実験や感染症にかかわる特定病原体を取り扱う場合、通称カルタヘナ法や感染症法等の法令により、実験に当たっては、安全確保のための措置を講ずる必要があること等から、外部の専門家を入れた安全協議会を設置することは困難だと考えている。したがって、バイオテクノロジーの環境安全に関する研究については、市保健所と連携を図るとともに、必要に応じて県衛生研究所や国等の専門機関の協力を得ていく。

小児医療費助成制度の対象拡大の考えは

質問 市民が実施を期待している中学校三年生までの医療費無料化について、早急に実施すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答弁 現在、本市では乳幼児・児童生徒数が増加傾向にあり、医療費助成額に限らず、子ども・子育てに関する経費は年々増加している。このような状況の中、国や県からは、子育て支援に関する現金給付については、地方負担が求められ、また、保育所の整備、運営には、補助金の減額等が見込まれている。こうしたことから、現状の小児医療費助成制度の対象拡大は難しいものと判断した。今後は、まずは現行制度の維持を大前提とし、乳幼児・児童生徒数や医療費助成額の伸び、子育て支援全般にかかわる財政状況を見きわめた上で、対象拡大について慎重に検討すべきと考えている。

都市農業の継続支援
今後の取り組みは

(自民クラブ藤沢)

質問 農業を取り巻く環境が厳しさを増している中、本市では都市農業を継続し、市民の食料供給に貢献しているが、市民の安全を確保し、このような施設に第三者機関を設け、専門家や市民を入れた安全協議会を設置すべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答弁 遺伝子組み換え実験や感染症にかかわる特定病原体を取り扱う場合、通称カルタヘナ法や感染症法等の法令により、実験に当たっては、安全確保のための措置を講ずる必要があること等から、外部の専門家を入れた安全協議会を設置することは困難だと考えている。したがって、バイオテクノロジーの環境安全に関する研究については、市保健所と連携を図るとともに、必要に応じて県衛生研究所や国等の専門機関の協力を得ていく。

条例の具体的な内容については、市民の意見・提案を広く伺うとともに、市民との協働作業により作成していきたいと考えている。

答弁 心身ともに成長する中学生にとって、食の充実が重要であり、中学校給食の実施の検討は必要とされている。既に実施している他市の例を見ると、単独校方式、センター方式、デリバリー方式等の形態があるが、初期経費や学校の日課表への影響を考慮すると、デリバリー方式の導入を検討している。

比較的導入しやすく、また、弁当持参の希望も反映できる制度であると考え、早期導入に向け検討することとしたい。

先般、藤沢市中学校給食検討委員会の中間報告があるが、平成二十四年度も引き続き検討を進める予定であるため、導入に当たっては、その検討結果を見守り判断していきたい。

市民や関係団体の意見を伺いながら進めていくが、基本的に、既存施設の有効活用や施設の一部使用等、財政負担を極力少なくするよう考えている。まずは、関係機関・団体等の意見を伺いながら、庁内において検討を進めていく。

具体的計画については、一年度に策定した保育所整備計画において、認可保育所の定員を二十六年度まで七百三十人拡大することを目指し、さらに、年度計画を前倒しして、二十四年度には当初の計画目標値を百人余り上回る形で整備を進めているが、子育て世代の転入や共働き世帯の増加等により、入所希望者がふえ、保育所整備が追いつかない状況である。

今後は、引き続き、幼稚園の一時預かりや家庭的保育の充実・拡大を図るとともに、事業仕分けの評価結果も踏まえ、①保育所整備計画の見直しによる認可保育所の整備する地域の選定